



カムカム

訪問歯科診療ニュース

「カムカム通信は」訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

噛む噛む 2008.11 Vol. 57

SOS DENTIST

発行/SOSデンティスト
日本訪問歯科協会

〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町1-2-16
瀧田ビル3F

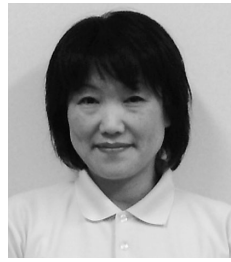
TEL:03(5623)3651
FAX:03(5623)1119

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで... ☎ 0120-099-505

かむかむ COME COME 倶楽部

定期的にご利用者様のお口の健康相談などを実施している、「ニチイ ケアセンター御領(大阪府)では、歯科だけでなく、耳鼻科や内科 などとも連携した、チーム医療としての口腔ケアの必要性を感じ ています。

今後は歯科だけでなく チーム医療としての 口腔ケアの体制づくりを



ニチイケアセンター御領 センター長 平見啓子さん

私 たちは「ニチイケアセンター御領」

では、介護保険の予防メニューに 口腔機能の向上が取り入れられた 平成18年頃から、日本訪問歯科協 会の協力を得て、スタッフ向けの口 腔ケアの勉強会や、利用者様のお口 の健康相談を定期的に行っています。 初めての勉強会するとき、お口の中 にはバイ菌がたくさんいるかとい うお話を聞きました。赤ちゃんにチ ユーをすることでバイ菌を移してし まうというお話は、とても衝撃的で 印象に残っています。

お口の中がきれいじゃないと、誤嚥 をしたときにバイ菌が気管に入って 危険なこと、寝ているときも知らな

い間に少しずつ唾液を誤嚥していて、それが肺炎の原因になることなどを 改めて知り、口腔ケアの大切さを再 認識するきっかけになりました。 その後も、支店のケアマネージャー を集めての研修会や、他施設での勉 強会などにも参加して、口腔ケアに ついていろいろ勉強しています。

時間をかけて少しずつ 利用者様にも浸透

定期的にお口の健康相談を行って きたことで、利用者様にも口腔ケア の重要性が、時間をかけて少しずつ 浸透していったと思います。

日本訪問歯科協会の担当者の方 が、毎月センターに顔を出してくだ さるのですが、そのときに利用者様 がお口のことをなんとなく相談した り、「舌ブラシがほしいからどこかで 探してきてくれませんか」などお願 いしたりすることもあるようで、自発 的に口腔ケアに取り組もうという姿 勢も見えてきました。

お口の健康相談から、訪問歯科診 療を希望された利用者様も何名か

いらっしやいます。食事があまり食べ られないと相談されたある利用者様 は、入れ歯を作り直したことで、今で はゆつくりだけ自分のお口で普通 食を食べられるようになり、ご本人 もご家族も喜んでいらっしやいます。 また、お口の健康相談の結果は、う ちのスタッフフナスがすべて、しっか りとチェックしています。当施設独自の お口のケアシステムシートもあるの ですが、「初回はきちんと細かく聞いて きてください」と言われることもあり、 ナース達も口腔ケアをかなり重要視 しています。

上手に「ごくん」して いただくために

私たちがお口の健康状態で今、特 に気をつけているのは「嚥下」につい てです。総入れ歯で「入れ歯を入れた くない」という方にも、「上だけでも 入れてきてください」とお話しします。 上だけでも入って、いれは咽頭圧が上 がって上手に「ごくん」できるよ うになるからです。

上手に「ごくん」する、嚥下はとても 大切なことだと思つたのですが、あまり 正しく評価されていないように思つ ています。嚥下に関してはST(言語聴 覚士)の方も診てくださいますが、歯 科にも大いに関わりますし、嚥下が不 十分だと内科にも影響を与えます。

嚥下に限らず口腔ケア全般につい て、いえることですが、歯科、耳鼻科、内 科などがうまく連携して、チーム医 療として取り組んでいけるような体 制ができる、なおよいのではないかと 思っています。

今日から始める、簡単お口のケア! アドバイス

高齢者の多い 「誤嚥性肺炎」

日本人に多い死因として、がん、 心筋梗塞(虚血性心疾患)、脳卒中 (脳血管疾患)に次いで、肺炎・気管 支炎が挙げられます。とくに、肺炎 と気管支炎による死亡の9割は65 歳以上の高齢者であるため、肺炎 は高齢者の健康管理にとって最も 重要な課題です。

高齢者の肺炎は、口の中の細菌 などが誤って肺に入って発症する「誤 嚥性肺炎」の割合が高いと言われ、 脳血管障害が多いことも大いに 関連しています。大脳の基底核は、 生命活動に重要な誤嚥反射や咳 反射などを司っているため、ここに 病変や障害があると誤嚥反射や咳 反射などが障害され、気道に異物 が入るのを排除できずに誤嚥を起 こしてしまつたのです。

また、高齢者の肺炎の原因は、気 づかないうちに唾液や胃液などが 肺に入る、「不顕性誤嚥」が多いと 言われます。認知症、神経病、高齢 化が進むと、誤嚥は起こりやすくなるのに咳反射は弱くなり、誤嚥 した物を吐き出すことができなくな ります。誤嚥性肺炎を起こした 人の多くは、本人も気づかない、寝 ている間に誤嚥を起こしています。